

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立山田高等学校
(准) 校長名	前田 貴司

開催日時	令和8年7月15日(水) 15:00～
開催場所	大阪府立山田高等学校1階 校長室
出席者(委員)	友谷会長、道倉委員、上田委員、西川委員、神田委員
出席者(学校)	前田校長、坂口教頭、金子首席、中武首席、松田指導教諭、是枝事務長 池本進路指導主事、藤井教務主任
傍聴者	なし
協議資料	・令和8年度 学校経営計画について ・令和9年度 使用教科用図書選定状況について
備考	なし

議事等(次第順)
1.挨拶 ・会長 ・校長 2.自己紹介 3.会長選出 4.会長代理選出 5. 会長挨拶 6. 実施要項確認 7. 協議 (1) 保護者からの意見書の提出状況 (2) 令和8年度学校経営計画について (3) 令和7年度進路状況について (4) 令和9年度使用教科用図書選定状況について (5) 質疑応答および協議・助言 (6) その他

（１）保護者からの意見書

提出された場合の流れの確認、今回も提出無し

（２）令和８年度学校経営計画について

今年度は解説動画を視聴していただいた。

- 1 めざす学校像、３つの「C」を大事にしていく
creation（信頼）、confidence（信頼）、challenge（挑戦）
- 2 確かな学力とグローバル教育 毎日９０分の家庭学習を確保
- 3 豊かでたくましい人間性のはぐくみ
- 4 働き方改革の推進

教科等横断的な授業の充実、総合的な探究の時間のプログラムのブラッシュアップ、イングリッシュカフェで英語によるコミュニケーションの場を設ける、交通安全指導（地域やPTAとの連携）、チャレンジだけでなく、やり抜こうとする生徒をはぐくんでいきたい。

PTAの協力により「防犯カメラ」の設置が実現した。

委員：交通安全指導とは具体的にどうするのか？

教頭：教員による自転車指導にPTAにも参加してもらうこと。生徒の通学の現状を見ていただきたい。

委員：AI動画は誰向けに作成してるのか？

校長：プロンプトが甘く、まだまだ詰めが甘いのが課題。中学生向けのものではない。

大阪教育ゆめ基金に関してはまだまだ周知されていないことが課題になっている。

（３）令和７年度進路状況について

・池本進路指導主事より

久々に就職２名（阪急電鉄と縁故による農業法人）がいた。

進学者数は延べ人数で表記。関西大学・近畿大学・同志社大学・関西学院大学に多く進学し進路雑誌にも掲載された。

委員：浪人２０数名は、多いのか

今年は前年度より多かった。全国的に微増の傾向。一般入試の枠が少なくなった。

共通テストに変わり３年目、本校では以前のセンター試験より減少傾向。今年度の希望者も昨年と同じくらい。

委員：国公立大学進学者の状況は？

一定数はいるが、減少傾向。

他校では外部塾との連携を行っている学校もあるが、本校では理社を中心に教科の先生が積極的に指導してくれている。

(4) 令和9年度使用教科書図書選定状況について

・教務主任より

教科書選定理由書から選定基準の説明

教科によっては、QRコードから動画解説に繋がったり、問題作成コードが付いてたり、プラスαの部分が選定の基準になっているようだ。

デジタル教科書の小・中学校での状況が話題になった。

読み上げるだけでは少し物足りないのではないか、書く力が必要ではないか、数学に関しては最初の式しか書けない、根拠を述べる理由が書けない、そんな力が養われないのではという懸念があるようにも感じる。

委員：デジタル教科書は小学校ではまだまだ浸透していない。

委員：中学校では教科には入っていない。希望する教科では可能。英語・社会では教科書を映し出している。数学で線を描くなどは手書きの良さがあるのではないか。ただ、視覚支援が必要な生徒には有効ではないか。

事務局：実物の写真を見せることが有効（洗濯機の歴史など）見せることは有効。

静止画と動画では理解力の違いがあるので様々なアプローチがあるのは良いこと。

事務局：生徒指導について報告する。朝の声かけを、生徒指導主事はじめ生徒指導部員、生徒会執行部員、そして校長で行っている。教員が立つ場所を工夫し、並走や自転車乗車時にイヤホン装着することはなくすよう指導している。雨の日の遅刻者が多くなることが課題。

事務局：部活動指導について報告する。暑くなってきており暑さ対策は今年も必須。園芸用の霧吹きを活用したミストを導入したい。早朝時間帯のローテーションも工夫する。

(6) その他

次回は11月中旬での開催予定。

次回の会議日程

日時

2026年11月頃

会場

大阪府立山田高等学校